平成25年8月2日
三井物産株式会社

平成26年3月期 第1四半期 連結決算（米国基準）ハイライト

（単位：億円）

経営成績	第1四半期連結累計期間（当1Q累計）	前年同期	増減額	比率（%）
収益	14,156	11,798	2,358	20.0
売上総利益	2,078	2,019	59	2.9
その他の収益・費用				
販売費・一般管理費	△ 1,397	△ 1,254	△ 143	
貸倒引当金繰入額	△ 28	△ 45	17	
利息収支	△ 34	△ 40	6	
受取配当金	494	354	140	
有価証券売却損益	88	58	30	
有価証券評価損	△ 83	△ 113	30	
固定資産処分損益	2	13	△ 11	
固定資産評価損	－	0	0	
雑損益	0	△ 113	113	
その他の収益・費用合計	△ 958	△ 1,140	182	
法人所得税及び持分法損益前利益	1,120	879	241	27.4
法人所得税	△ 448	△ 361	△ 87	
持分法損益前利益	672	518	154	29.7
持分法損益	640	601	39	
非支配持分控除前四半期純利益	1,312	1,119	193	17.2
非支配持分帰属四半期純利益	△ 54	△ 75	21	
四半期純利益（三井物産㈱に帰属）	1,258	1,044	214	20.4
包括損益（三井物産㈱に帰属）	1,104	△ 538	1,642	△ 305.2
営業利益（日本の会計慣行に基づく）	653	720	△ 67	△ 9.3

主な増減要因

【収益】
エネルギー：石油トレーディング取扱数量増及び円安
化学品：石油化学品原料トレーディング回復
米州：円安及び穀物取扱数量増
生活産業：穀物取扱数量増
金属資源：鉄鉱石価格下落の一方、円安及び数量増

【売上総利益】
金属資源：鉄鉱石価格下落の一方、円安及び数量増
鉄鋼製品：円安及び油井管・鋼管取引、輸出数量増
化学品：石油化学品原料トレーディング回復

【販売費・一般管理費】
円安による負担増

【貸倒引当金繰入額】
小口の集積
（前年同期 小口の集積）

【利息収支】
前年同期と同水準

【受取配当金】
LNGプロジェクトからの配当金増加

【有価証券売却損益】
ダイセル株
（前年同期 小口の集積）

【有価証券評価損】
Valepar優先株、LNGプロジェクト宛投資
（前年同期 鉄鋼関連上場株、Valepar優先株）

【固定資産処分損益】
小口の集積
（前年同期 小口の集積）

【固定資産評価損】
なし
（前年同期 小口の集積）

【雑損益】
為替利益、探鉱費用
（前年同期 探鉱費用、為替損失）

【持分法損益】
増加・IPP事業 デリバティブ時価評価損益改善
・RRMC 鉄鉱石価格下落の一方、円安効果
・JAL-MIMI 円安効果
減少・生活産業の持分法投資評価損

オペレーティング・セグメント情報（※）

	＜売上総利益＞ 当1Q累計	前年同期	増減	＜四半期純利益（三井物産㈱に帰属）＞ 当1Q累計	前年同期	増減	主な増減要因
鉄鋼製品	144	90	54	31	△ 23	54	・円安効果 ・前年同期 鉄鋼関連上場株評価損
金属資源	501	409	92	331	307	24	・鉄鉱石価格下落の一方、円安効果、数量増 ・MRMD 為替損失及び持分法投資先のリストラ損失
機械・インフラ	279	242	37	52	36	16	・IPP事業 デリバティブ時価評価損益改善 ・南米及びアジアの自動車関連事業堅調
化学品	203	150	53	77	10	67	・ダイセル株式売却益 ・石油化学品原料トレーディング回復
エネルギー	444	529	△ 85	597	563	34	・LNGプロジェクトからの受取配当金増 ・MEPAU 油田生産設備改修に伴う数量減
生活産業	275	259	16	△ 7	28	△ 35	・持分法投資評価損 ・前年同期 IHHみなし売却益
次世代・機能推進	△ 25	130	△ 155	△ 9	39	△ 48	・MCRM 商品デリバティブ取引不調 ・米国ベンチャー投資事業 評価損・売却損
米州	182	173	9	28	37	△ 9	・Novus メチオニン価格下落
欧州・中東・アフリカ	77	37	40	38	0	38	・Mitsui Real Estate Europe 不動産売却益
アジア・大洋州	35	27	8	100	89	11	・豪州資源子会社の持分業績増
合計	2,115	2,046	69	1,238	1,086	152	
その他及び調整・消去	△ 37	△ 27	△ 10	20	△ 42	62	
連結合計	2,078	2,019	59	1,258	1,044	214	

財政状態	平成25年6月末	平成25年3月末	増減
総資産	104,428	103,246	1,182
株主資本	32,534	31,818	716
有利子負債（現預金等控除後）	29,938	28,394	1,544
ネットDER（倍）	0.92	0.89	0.03

【総資産】
イタリア陸上油田権益の取得など、新規及び拡張投資により、投資・固定資産が増加。

【株主資本】
豪ドル安及び伯レアル安により外貨換算調整勘定が悪化した一方、利益剰余金の積上げ及び有価証券保有損益の増加により増加。

キャッシュ・フロー	当1Q累計	前年同期
営業活動	1,123	1,340
投資活動	△ 1,854	△ 1,088
（フリーキャッシュ・フロー）	△ 731	252
財務活動	△ 3	△ 563
換算差額	△ 7	△ 211
現金・現金同等物の増減額	△ 741	△ 522

＜参考＞

主要指標推移	当1Q累計	前年同期
為替（円/米ドル：期中平均）	99.23	79.81
為替（円/豪ドル：期中平均）	96.80	80.16
金利（円TIBOR3M平均）	0.23%	0.34%
金利（米ドルLIBOR3M平均）	0.27%	0.46%
当社連結油価（米ドル/bbl）	$112/bbl	$117/bbl

	平成25年6月末	平成25年3月末
為替（円/米ドル：期末レート）	98.59	94.05
日経平均（期末終値）	13,677.32	12,397.91

平成26年3月期 連結業績予想

平成26年3月期の連結業績予想は、平成25年3月期決算発表時に当期純利益（三井物産(株)に帰属）3,700億円と公表しておりますが、当第１四半期連結累計期間においては、連結業績予想の見直しを行っておりません。

※ 当第1四半期連結累計期間より、従来次世代・機能推進セグメントに含まれていた物流インフラ事業を機械・インフラセグメントに、先端材料事業を化学品セグメントに、メディア事業を生活産業セグメントに、それぞれ移管しました。また、従来金属資源セグメントに含まれていた三井物産メタルズの鉄スクラップ等関連事業を鉄鋼製品セグメントの三井物産スチールに移管しました。これらの変更に伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を修正再表示しています。